

大阪市立
自然史はくぶつかん
小学生ワークシート

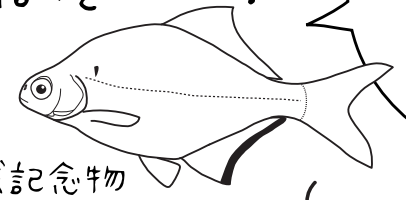
淀川のいきもの

学校 _____ 年 _____ 組 _____

なまえ _____

花と緑と自然の情報センター1階
大阪の自然誌コーナー
淀川/わんど

1 ほくをさがそう!

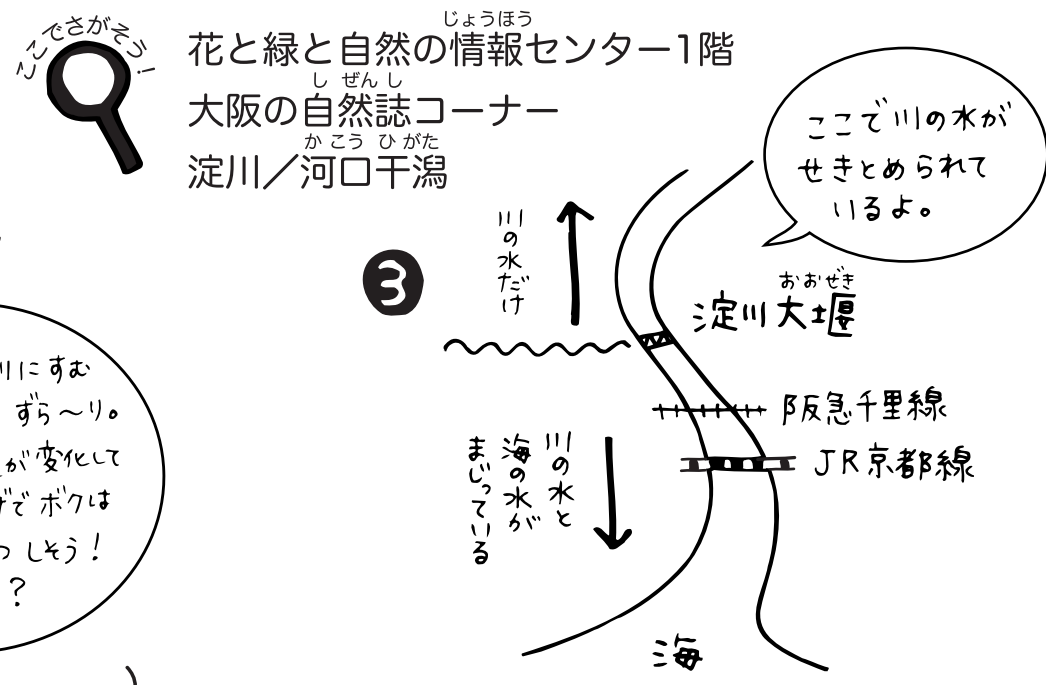


天然記念物

ここには淀川にすむ魚のひょう本がずら〜り。淀川の環境が変化してしまっただけでボクは今にもぜっめつしよう! さてだあれ?

2 淀川には川にそって池がならんでいるような所(わんど)があるよ。今は40カ所くらいにへってしまったけど30年くらい前には、どのくらいあったのかな?

ア・100カ所 イ・300カ所 ウ・500カ所



淀川の水と海の水がまじったところにはどんな生きものがすんでいるのかな?

() ()

() ()

※あくまで目安です。

先生の 豆知識

ワークシートの答えや展示を楽しむための話ネタです。これを話せば、子どもたちもビックリ!?

知識

ワークシートの
つかい方

必要なシートをマップにはさんていください。

対象学年	高学年
事前学習	いりません
展示室での記入	いる

※混雑時は館内でのワークシートのご利用をご遠慮いただく場合があります。利用可能な時期につきましては事前に係員にお問い合わせ下さい。

クイズのこたえ

1 イタセンパラ

イタセンパラは、富山平野、濃尾平野、淀川水系の限られた場所のみ生息するコイ科の魚です。秋の産卵期の雄はとてもきれいで、雌は貝に産卵します。わんどなどの生息環境の悪化や減少で、その数が激減し、国の天然記念物や国内希少野生動植物種に指定されています。イタセンパラを保護する市民活動も行われています。

こどもみまみよう

●アユモドキの標本

イタセンパラと同様に法律によって保護されているドジョウ科のアユモドキは淀川ではほとんど見られなくなりました。このコーナーではアユモドキの標本も展示しています。

2 ウ. 500ヶ所

淀川では明治から昭和初期にかけて川の流れをゆるやかにし、船が安全に航行できるように石積みや並べていく工事が行われました。積んだ石積みの中に土砂がたまって入江のようになっていたり、池のようになったところが「わんど」です。流れの強い本流にすむことができない生きものにとって、わんどは絶好のすみ場所なのです。

3 河口から淀川大堰までの10Kmの間の淡水と海水が混じり合う所（汽水域）には様々な生きものがすんでいます。このコーナーではそんな生きものを紹介しています。

淀川汽水域の生きもの

動物

クロベンケイガニ
ヤマトオサガニ
アシハラガニ
ヒヌマイトトンボ
カワザンショウガイ
イシマキガイ
コウロエンカワヒバリガイ
ヤマトシジミ

植物

(塩生植物)
ウラギク
シオクグ
ヨシ

※このほかにも昆虫の標本なども見ることができます。

※この「ワークシート」は文部科学省委託事業「科学系博物館教育機能活用事業」の一環として制作されました。
制作/大阪自然史センター 監修/大阪市立自然史博物館